

作文の部 市長賞

言葉とは何か

東久留米市立第六小学校

六年 Y・S

ぼくは、言葉とは使い方によって人を喜ばせることができたり、人を傷つけてしまうことともあるものだと思う。

最近、ぼくの周りからは、「死ね」という言葉や「カス」など人をぶじよくするような声が聞こえてくる。その言葉は当たり前だが、

悪い言葉だ。ぼくは、その言葉を聞くとなぜそのようなことを言ったのかを考えてしまう。悪い言葉を言ったがわも、悪い言葉を言った

しゅん間は、楽しいと思うが、その後は、友達にいやな思いをさせてしまい、自分が悲しくなってしまうだけだ。

一方で、言葉には良い言葉もある。例えば「ありがとう」「や」「すごい」という言葉だ。これらの言葉は相手を笑顔にすることができ

たり、相手を喜ばせたりすることができ

ぼくは、母親が誕生日のとき、母親にあり
がとう、と言う。すると母は、必ず笑顔にな
りどういたしまして、と返してくれる。この
ときは、「ありがとう」といわれたほうもう
れしい気持ちになり、言った方も人に感謝を
伝えられてうれしい気持ちになるとぼくは考
える。
少し前までは、ニュースで「自殺」という
言葉をよく耳にした。また自殺の原因はいじ
めや悪口だとニュースで報じられていたのを
ぼくは目にした。
このようなニュースにふれて、改めてなぜ
悪い言葉が使われてしまうのか考えてみた。
人は、悪い言葉を使う時には、自分に自信が
持っていない、自分より立場の弱い人を見つ
け攻撃すること、自分の方が強いと錯覚し
ているのではないだろうか。悪い言葉を使っ
ている方にも弱いところがあると感じる。悪
い言葉でいじめをしている人も、きっと人と
の関わりの中で、良い言葉も使っているので

はないだろうか。すべての人がどんな相手に
対しても、良い言葉を使っていくことで、悲
しいニュースを聞くこともなくなるのではな
いかと思う。

ぼくは、そのニュースの自殺という悲しい
結果を選んだ人に、もっと早いタイミングで
良い言葉をかけてあげたい。また、いじめを
するがわにもポジティブな言葉をかけて、心
のすき間を埋めてあげれたらと思う。

ぼくは、まず身近な人たち、家族や親友を
良い言葉で、笑わせて楽しい気持ちにさせて
あげたい。併せて、この作文を通して、言葉
の大切さについても様々な人に伝えていけた
らと思う。